

わくわく 本だな



* 今月から「わくわく本だな」が
あたらしくなりました *



★ = 1・2年 ★★ = 3・4年
★★★ = 5・6年

『魔法のハサミがやってきた! バーバー・ルーナのお客さま①』 ★★

岡田 貴久子/作 ふじしま えみこ/絵 借成社



ユカの家^{まほう}に、風太郎^{ふうたろう}おじさんが、魔法のハサミの力で空をとんで、六年ぶりに帰ってきました。美容師^{びようし}のおじさんは、お化け屋敷^{やしき}のような床屋^{とこや}さん「バーバー・ルーナ」にやとってもらいます。ユカがお店に行くと、おじさんのハサミで髪^{かみ}をカットした10才^{かみ}くらいの女の子^{へんしん}がいました。実はその子は、ハサミの力で変身^{へんしん}した店の主人、80才のルナおばあさんでした。

『おひさまやのおへんじシール』 ★

茂市 久美子/作 よしざわ けいこ/絵 講談社

うさぎのおみせ「おひさまや」には、すてきなものがいっぱい! 一人ぐらしのおばあさんは、ものをどこにおいたかわすれるので、よぶとへんじをしてくれるシールをもらいました。



『あたしって、しあわせ!』 ★

ローセ・ラーゲルクランツ/作 菱木 晃子/訳
エヴァ・エリクソン/絵 岩波書店

ダウンネは、大すきなともだちのエツラといると、とともしあわせでした。でも、エツラがとおくへひっこしてしまい、なにをやってもしあわせになれません。



『糸子の体重計』 ★★★

いとう みく/作 佐藤 真紀子/絵 童心社

食べるのが大好きな糸子は、大らかで真っすぐな性格。今日も男子の滝島と給食のおかわりをねらって競争^{きょうそう}です。でも、なぜかダイエット^{たいえつ}することに! おいしいものが食べられないなんて・・・。



『こおり』 (ちしきの本)

前野 紀一/文 斉藤 俊行/絵 福音館書店

冷蔵庫^{れいぞうこ}の中の氷には、いろいろな形の小さなあわがあります。これはいったいなんでしょう? 氷の不思議^{ふしぎ}がいっぱいの本です。北極^{ほっきょく}や南極^{なんきょく}の氷についてもくわしく紹介^{しょうかい}しています。





『 キュッパのはくぶつかん 』（えほん）

オーシル・カンスタ・ヨンセン／作 ひだに れいこ／訳 福音館書店

キュッパはいろいろなものをあつめるのが大すき。あつめたものがいっぱいになったので、ラベルをつけてせいりしました。



『 おかあちゃんがつくったる 』（えほん）

長谷川 義史／作 講談社



おかあちゃんは、なんでもミシンでつくってくれる。ほしいものは、ちょっとちがうけど。

『 ねえ、おはなしきかせて 』 ★

原 京子／作 高橋 和枝／絵 ポプラ社

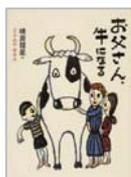


ゆかが、本をこえに出してよんでいたら、どうぶつたちがあつまってきました。

『 お父さん、牛になる 』 ★★

晴居 彗星／作 ささめや ゆき／絵 福音館書店

朝おきたら、お父さんがなぜか牛になっていた！？その日から、ぼくとお母さんとお姉ちゃんは、^{しまっ}フンの始末やエサやりに追われることになってしまった。



『 ライオンがいないどうぶつ園 』 ★★

フレート・ロドリアン／作 ヴェルナー・クレムケ／絵 たかはし ふみこ／訳 徳間書店

町に新しく動物園ができましたが、ライオンがいません。「ライオンがいなくっちゃ！」そこで子どもたちはまず、お金をためることにしました。



『 だれも知らない犬たちのおはなし 』 ★★★

エミリー・ロッダ／作 山西 ゲンイチ／絵 さくま ゆみこ／訳 あすなる書房

ドラン通りに住む五匹の犬と一匹のヤギはとてななかよし。飼い主たちが出かけると、集まっておしゃべりしたりテレビを見たりします。そんなある日、事件が起きました。



『 あこがれお仕事いっぱい！ 』

『 せいふく^{ずかん}図鑑 』（ちしきの本）

勝倉 峻太／写真 鶴田 一浩／絵 学研教育出版



^{けいさつかん}警察官や^{しょうぼうし}消防士、お花屋さんなど人気のある仕事のせいふくと、その仕事の様子を紹介しています。せいふくを着てみたいです！

『 なるほどダ・ヴィンチ 』（ちしきの本）

DADA 日本版編集部／作 朝日学生新聞社



「モナリザ」をかいたレオナルド・ダ・ヴィンチは、天才的な発明の才能もありました。自動車^{てき}がなかった時代に、ヘリコプター^{さいのう}の図を書きのこしているのです。

読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273